



学校だより

横浜市立矢上小学校

☺手をつなぎ 笑顔いっぱい 矢上っ子☺

11月号 発行日 令和5年10月31日

「矢上小学校運動会」

～子どもたちと教師が共に学びあい・高め合う～

副校長 渡邊 将道

清々しい天候の中、令和5年度矢上小学校運動会を無事終えることができました。子どもたちは最後まで、徒競走や演技に自分の持てる力を精一杯出し切りました。児童と職員が一体となって創り上げた素晴らしい行事となりました。

この1か月間、職員室の窓から各学年の子どもたちが校庭で表現運動の練習をする姿を見てきました。練習を重ねるたびに、自信をもって手をいっぱいに広げられるようになってきたり、全体の動きがそろってきたり、だんだん完成度が高まっていく様子を見てきました。また、児童同士でアドバイスする様子もありました。そこには友達への動きのよさを認め、友達から学び、自分の動きに生かそうとする意欲的な姿が見られました。休み時間やすき間の時間を使って、動きを覚えようと熱心に練習している児童もたくさんいました。

一方、職員も子どもたちに見本を見せたり、指導したりするために教室や自宅で演技の秘密特訓をしていました。下校後の教室で一人黙々と練習している職員がいました。自宅の鏡や窓ガラスに映る姿を見ながら練習をしている職員もいました。子どもたちの練習用にと動画を録画・編集している職員もいました。職員同士での演技の教え合い、構成についての話し合いも放課後の教室や体育館で盛んに行われていました。職員室では、子どもたちの動きのよさや成長について、熱く語り合う教職員の姿がありました。「〇〇さんのあの動き、すごくよかったね。」「あの部分がそろえば、さらに子どもたちのよさを引き出せそうだね。」そんな子どもたちの話をしている職員たちの表情は生き生きとしていました。

運動会に向けた練習を通して、子どもたちは大きく成長します。我々職員も、ひたむきな子どもたちの姿から多くのことを学び、子どもたちから成長させてもらっています。今回の運動会でも、これまでの子どもたち同士、子どもと教師、教師同士の学び合い、高め合いの成果が様々な場面で見られました。1年生のかわいらしく笑顔はじけるダンス、2年生の体をいっぱいに使ってのダイナミックな動作、3年生のフラフープを巧みに操作した動き、4年生のゆったりとしながらも力強いエイサー、5年生のキレと迫力のあるソーラン節、6年生のピタリとそろった一体感あふれる演技、全てが練習の成果を十二分に発揮できたもので、これらの子どもたち表現運動の姿は深く心に刻み込まれるものでした。同時に今後の子どもたちの可能性を大いに感じました。

一人ひとりが一生懸命取り組んだ運動会での経験を、これからは学級や学年の中で発揮できるように、つなげていきたいと思います。子どもたちのさらなる成長にご期待ください。

PTA役員、地域の皆様には環境整備をはじめ前日の準備、当日の運営にご協力いただきありがとうございました。また、保護者の皆様には子どもたちの競技や演技に温かいご声援をいただき、心より感謝申し上げます。

来年の運動会では、どんなすてきな姿を見せてくれるのでしょうか。今からワクワクしています。

【学校の様子をホームページにてお知らせしています】

各学年の活動や学校からのお知らせを掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yagami/>



↑QRコード↑